

ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型)

米ドルコース
日本円コース
通貨αコース

運用報告書 (全体版)

第95期 (決算日 2022年11月21日)
第96期 (決算日 2022年12月20日)
第97期 (決算日 2023年1月20日)
第98期 (決算日 2023年2月20日)
第99期 (決算日 2023年3月20日)
第100期 (決算日 2023年4月20日)

(作成対象期間 2022年10月21日～2023年4月20日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産	
信託期間	2014年10月21日～2024年10月18日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	米ドルコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド (ノンヘッジクラス)」の受益証券 (円建) ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	日本円コース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド (円ヘッジクラス)」の受益証券 (円建) ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	通貨αコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド (通貨αクラス)」の受益証券 (円建) ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、エネルギーや天然資源等に関連する米国のMLP (マスター・リミテッド・パートナーシップ) 等へ投資し、信託財産の成長をめざしております (通貨αコースでは、通貨カバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保もめざしております)。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先 (コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5643>
<5644>
<5645>

米ドルコース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			アレリアンMLP指数 (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
71期末(2020年11月20日)	2,762	30	11.3	4,384	19.5	—	98.2	1,198
72期末(2020年12月21日)	2,821	30	3.2	4,671	6.5	—	98.3	1,187
73期末(2021年1月20日)	2,996	30	7.3	5,111	9.4	—	98.1	1,240
74期末(2021年2月22日)	2,963	30	△ 0.1	5,111	0.0	—	98.2	1,210
75期末(2021年3月22日)	3,210	30	9.3	5,770	12.9	—	98.1	1,237
76期末(2021年4月20日)	3,283	30	3.2	5,858	1.5	—	98.2	1,254
77期末(2021年5月20日)	3,568	30	9.6	6,517	11.2	—	98.9	1,353
78期末(2021年6月21日)	3,716	30	5.0	6,959	6.8	—	97.9	1,399
79期末(2021年7月20日)	3,384	30	△ 8.1	6,200	△ 10.9	—	97.8	1,268
80期末(2021年8月20日)	3,347	30	△ 0.2	6,147	△ 0.9	—	98.0	1,195
81期末(2021年9月21日)	3,458	30	4.2	6,200	0.9	—	98.1	1,224
82期末(2021年10月20日)	3,999	30	16.5	7,548	21.7	—	98.2	1,390
83期末(2021年11月22日)	3,718	10	△ 6.8	6,922	△ 8.3	—	97.4	1,336
84期末(2021年12月20日)	3,518	10	△ 5.1	6,532	△ 5.6	—	98.0	1,240
85期末(2022年1月20日)	3,904	10	11.3	7,565	15.8	—	97.4	1,358
86期末(2022年2月21日)	4,010	10	3.0	7,830	3.5	—	98.1	1,347
87期末(2022年3月22日)	4,296	10	7.4	8,331	6.4	—	98.9	1,438
88期末(2022年4月20日)	5,072	10	18.3	9,795	17.6	—	95.2	1,708
89期末(2022年5月20日)	4,707	10	△ 7.0	9,237	△ 5.7	—	97.8	1,527
90期末(2022年6月20日)	4,458	10	△ 5.1	8,826	△ 4.5	—	97.7	1,306
91期末(2022年7月20日)	4,863	10	9.3	9,710	10.0	—	98.8	1,415
92期末(2022年8月22日)	5,327	10	9.7	10,704	10.2	—	97.3	1,561
93期末(2022年9月20日)	5,412	10	1.8	11,119	3.9	—	98.2	1,577
94期末(2022年10月20日)	5,565	10	3.0	11,616	4.5	—	98.0	1,612
95期末(2022年11月21日)	5,465	10	△ 1.6	11,417	△ 1.7	—	98.0	1,545
96期末(2022年12月20日)	5,016	10	△ 8.0	10,304	△ 9.7	—	97.9	1,371
97期末(2023年1月20日)	5,005	10	△ 0.0	10,609	3.0	—	97.9	1,357
98期末(2023年2月20日)	5,143	10	3.0	11,322	6.7	—	98.5	1,390
99期末(2023年3月20日)	4,695	10	△ 8.5	10,482	△ 7.4	—	98.6	1,233
100期末(2023年4月20日)	5,006	10	6.8	11,194	6.8	—	98.7	1,302

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) アレリアンMLP指数(円換算)は、Alerian MLP Total Return Index(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。Alerian MLP Total Return Index(米ドルベース)はGKD Index Partners LLC d/b/a Alerianが算出しており、その商標を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

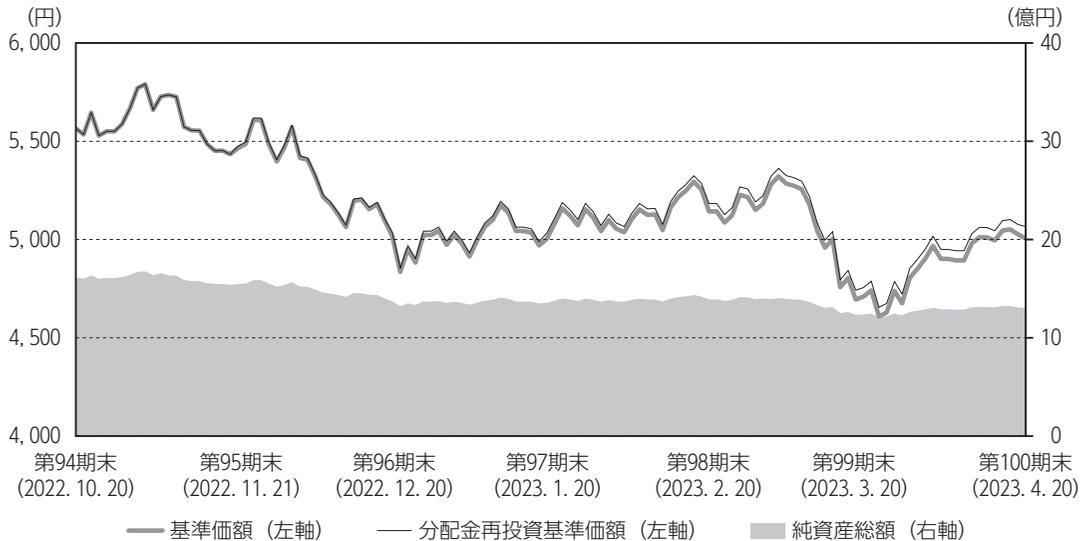
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第95期首：5,565円

第100期末：5,006円（既払分配金60円）

騰落率：△9.0%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

MLP（※）市況は上昇したものの、保有銘柄の下落や米ドルが対円で下落（円高）したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※MLPは、米国で行われている共同投資事業形態のひとつであり、その出資持分が米国の金融商品取引所等で取引されています。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 米ドルコース

	年 月 日	基 準 価 額		アレリアンMLP指数 (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
第95期	(期首)2022年10月20日	5,565	—	11,616	—	—	98.0
	10月末	5,668	1.9	12,030	3.6	—	98.2
	(期末)2022年11月21日	5,475	△ 1.6	11,417	△ 1.7	—	98.0
第96期	(期首)2022年11月21日	5,465	—	11,417	—	—	98.0
	11月末	5,468	0.1	11,393	△ 0.2	—	98.5
	(期末)2022年12月20日	5,026	△ 8.0	10,304	△ 9.7	—	97.9
第97期	(期首)2022年12月20日	5,016	—	10,304	—	—	97.9
	12月末	5,023	0.1	10,414	1.1	—	98.4
	(期末)2023年1月20日	5,015	△ 0.0	10,609	3.0	—	97.9
第98期	(期首)2023年1月20日	5,005	—	10,609	—	—	97.9
	1月末	5,042	0.7	10,896	2.7	—	97.9
	(期末)2023年2月20日	5,153	3.0	11,322	6.7	—	98.5
第99期	(期首)2023年2月20日	5,143	—	11,322	—	—	98.5
	2月末	5,216	1.4	11,389	0.6	—	98.5
	(期末)2023年3月20日	4,705	△ 8.5	10,482	△ 7.4	—	98.6
第100期	(期首)2023年3月20日	4,695	—	10,482	—	—	98.6
	3月末	4,853	3.4	10,936	4.3	—	98.6
	(期末)2023年4月20日	5,016	6.8	11,194	6.8	—	98.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2022. 10. 21 ~ 2023. 4. 20)

MLP市況MLP市況は上昇しました。

MLP市場は、当作成期首から2022年11月末にかけては、英国市場の混乱が収束して欧米の金利上昇が一服したことや、米国のインフレ率が予想を下回ったことなどが好感されて上昇しました。年末にかけては、米国の景況感や企業業績の悪化懸念などから下落しましたが、2023年に入ると、賃金上昇率の鈍化でFRB（米国連邦準備制度理事会）の利上げペースが減速するとの期待などから上昇しました。2月から3月半ばにかけては、予想を上回る経済指標の発表が相次ぎ金利が上昇したことや、米国の地方銀行の経営破綻を受けて下落しましたが、その後は、FRBによる緊急融資枠の新設で資金繰り懸念が後退したことなどが好感され、上昇に転じました。4月に入り、米国地方銀行の経営不安が再燃する一方、予想を上回る企業決算の発表が好感されるなど好悪材料が入り交じり、小幅に上昇して当作成期末を迎えました。

為替相場米ドル円為替相場は下落しました。

米ドルの対円為替相場は、当作成期首より、インフレ率の低下期待などから米国金利が低下したことで日米金利差の縮小が意識され、円高米ドル安となりました。2022年12月は、日銀が想定外の政策修正を行ったことで金融緩和政策の転換などが意識され、日本の長期金利が大きく上昇するとともに円高米ドル安が進行しました。2023年1月には、日銀が金融緩和政策の維持を決定したことで一時的に円安米ドル高が進行する局面もありましたが、日米金利差の縮小などにより円高米ドル安基調が継続しました。しかし2月に入り、堅調な米国の経済指標を受けて米国金利が大きく上昇したことで、円安米ドル高に転じました。3月は、信用不安の拡大により米国金利が大きく低下したことや、リスク回避による円買い需要の高まりなどから、円高米ドル安となりました。4月には、月後半にかけて5月のFOMC（米国連邦公開市場委員会）での利上げが意識される展開となり、小幅に円安米ドル高の動きで当作成期末を迎えました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）：CBREクラリオン・トラスト・ダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）

■アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）

良好な財務体質、生産性の高い地域における施設の保有、低いカウンターパーティーリスク（取引相手の信用リスク）、優れた経営陣を有する企業が選好されると考えており、これらを重視したポートフォリオを構築します。

なお、ファンド満期償還時（2024年10月予定）の税制面への対応のため、2022年12月中旬をめどに保有するMLPを売却し、MLP市場に投資するETF（上場投資信託）へ切替えを行います。また、川中事業を中心に行う普通株式（以下、川中関連株式）も一定程度組み入れることで、バランスの取れたポートフォリオを構築し、運用を行ってまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2022. 10. 21 ~ 2023. 4. 20)

■当ファンド

当ファンドは、「アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期は「アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）」を高位に組み入れました。

■アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）

ファンド満期償還時（2024年10月予定）の税制面への対応のため、2022年12月中に保有するMLPをすべて売却し、MLP市場に投資するETF（上場投資信託）へ切り替えを行いました。また、川中関連株式を厳選し、ETFと川中関連株式で新たなポートフォリオを構築しました。

株式部分の運用においては、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、銘柄の選定を行いました。

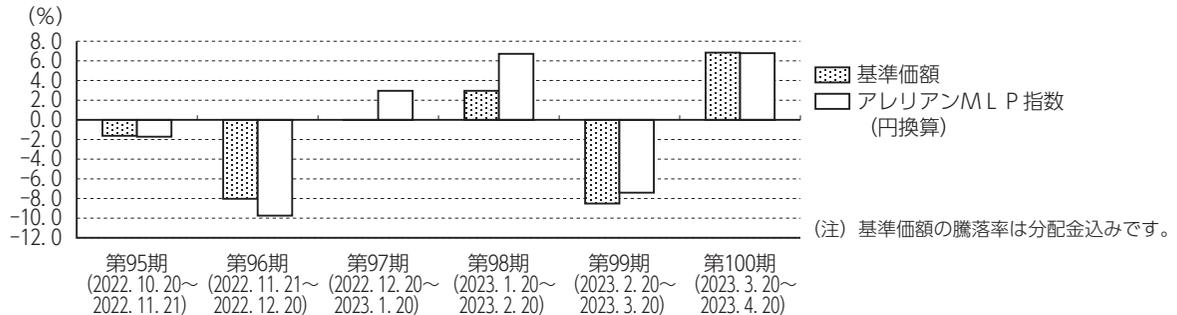
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドは、参考指数と比較して「原油・精製品パイプライン、貯蔵」の組入比率が低いという特徴があります。参考指数はMLP市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第95期	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期
	2022年10月21日 ～2022年11月21日	2022年11月22日 ～2022年12月20日	2022年12月21日 ～2023年1月20日	2023年1月21日 ～2023年2月20日	2023年2月21日 ～2023年3月20日	2023年3月21日 ～2023年4月20日
当期分配金(税込み) (円)	10	10	10	10	10	10
対基準価額比率 (%)	0.18	0.20	0.20	0.19	0.21	0.20
当期の収益 (円)	0	0	1	6	1	6
当期の収益以外 (円)	9	9	8	3	8	3
翌期繰越分配対象額 (円)	377	368	359	356	347	343

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計上上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第95期	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 0.09円	✓ 0.98円	✓ 1.02円	✓ 6.29円	✓ 1.35円	✓ 6.47円
(b) 経費控除後の有価証券売却等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	301.97	302.04	302.10	302.16	302.21	302.24
(d) 分配準備積立金	✓ 85.71	✓ 75.74	✓ 66.66	✓ 57.63	✓ 53.88	✓ 45.20
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	387.78	378.77	369.79	366.09	357.45	353.92
(f) 分配金	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	377.78	368.77	359.79	356.09	347.45	343.92

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）

ファンドの満期償還に向けて、MLP市場に投資するETF（上場投資信託）および川中関連株式を組み合わせ、バランスの取れたポートフォリオで運用を継続する方針です。川中関連株式については、規模と安定性に優れ、世界のエネルギー需要の拡大から恩恵を受ける大型の銘柄を中心に、銘柄を厳選してまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第95期～第100期 (2022. 10. 21～2023. 4. 20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	33円	0.642%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は5,172円です。
(投 信 会 社)	(11)	(0.219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(21)	(0.411)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	33	0.646	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

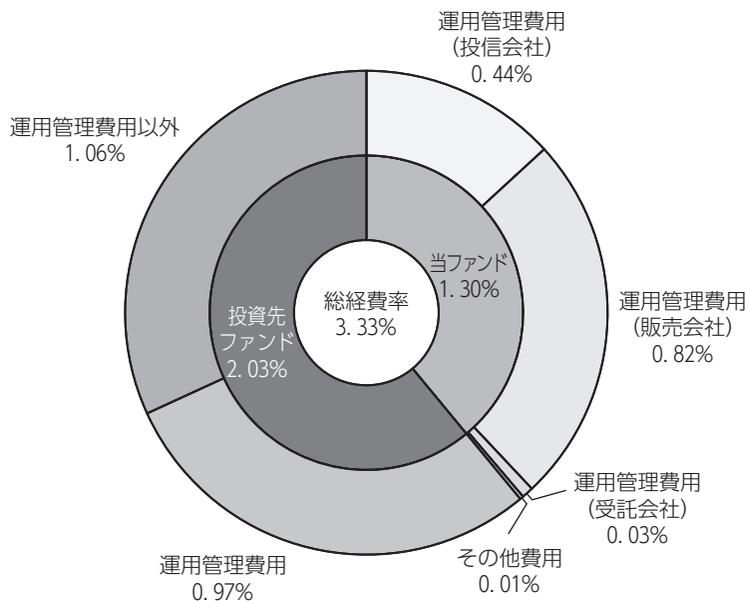
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.33%です。



総経費率（①＋②＋③）	3.33%
①当ファンドの費用の比率	1.30%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.97%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	1.06%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、MLP投資に関連して還付が見込まれる税金および還付された税金を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2022年10月21日から2023年4月20日まで)

決算期	第 95 期 ～ 第 100 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	195.24462	10,700	3,006.94562	166,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2022年10月21日から2023年4月20日まで)

第 95 期 ～				第 100 期			
買 付			売 付				
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				AMERICAN MLP FUND NON HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	3,006.94562	166,000	55

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 100 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AMERICAN MLP FUND NON HEDGED CLASS	24,338.29834	1,286,181	98.7

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第94期末			第 100 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	9	9	9			

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年4月20日現在

項 目	第 100 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1,286,181	97.7
ダイワ・マネー・マザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	30,739	2.3
投資信託財産総額	1,316,931	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）米ドルコース

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年11月21日)、(2022年12月20日)、(2023年1月20日)、(2023年2月20日)、(2023年3月20日)、(2023年4月20日)現在

項目	第95期末	第96期末	第97期末	第98期末	第99期末	第100期末
(A) 資産	1,572,098,320円	1,424,408,311円	1,378,755,755円	1,398,553,137円	1,237,976,024円	1,316,931,167円
コール・ローン等	25,595,372	43,489,328	19,743,983	27,730,155	21,820,151	30,739,476
投資信託受益証券（評価額）	1,514,492,972	1,342,909,006	1,329,001,796	1,370,813,005	1,216,145,896	1,286,181,714
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	9,977	9,977	9,977	9,977	9,977	9,977
未収入金	31,999,999	38,000,000	29,999,999	—	—	—
(B) 負債	26,613,084	53,358,684	21,648,203	7,567,783	4,029,137	14,055,968
未払金	16,000,000	19,000,000	15,000,000	—	—	—
未払収益分配金	2,827,923	2,733,277	2,711,532	2,704,584	2,628,415	2,602,500
未払解約金	5,953,931	30,065,668	2,408,009	3,298,820	—	9,999,526
未払信託報酬	1,819,633	1,538,337	1,497,716	1,523,721	1,351,450	1,395,773
その他未払費用	11,597	21,402	30,946	40,658	49,272	58,169
(C) 純資産総額（A－B）	1,545,485,236	1,371,049,627	1,357,107,552	1,390,985,354	1,233,946,887	1,302,875,199
元本	2,827,923,345	2,733,277,313	2,711,532,267	2,704,584,805	2,628,415,788	2,602,500,214
次期繰越損益金	△ 1,282,438,109	△ 1,362,227,686	△ 1,354,424,715	△ 1,313,599,451	△ 1,394,468,901	△ 1,299,625,015
(D) 受益権総口数	2,827,923,345口	2,733,277,313口	2,711,532,267口	2,704,584,805口	2,628,415,788口	2,602,500,214口
1万口当り基準価額（C/D）	5,465円	5,016円	5,005円	5,143円	4,695円	5,006円

* 当作成期首における元本額は2,897,030,297円、当作成期間（第95期～第100期）中における追加設定元本額は18,425,765円、同解約元本額は312,955,848円です。

* 第100期末の計算口数当りの純資産額は5,006円です。

* 第100期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,299,625,015円です。

■損益の状況

第95期 自 2022年10月21日 至 2022年11月21日

第97期 自 2022年12月21日 至 2023年1月20日

第99期 自 2023年2月21日 至 2023年3月20日

第96期 自 2022年11月22日 至 2022年12月20日

第98期 自 2023年1月21日 至 2023年2月20日

第100期 自 2023年3月21日 至 2023年4月20日

項目	第95期	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期
(A) 配当等収益	1,858,893円	1,817,241円	1,785,690円	1,768,080円	1,715,789円	1,713,100円
受取配当金	1,860,550	1,819,000	1,786,477	1,768,541	1,716,034	1,713,226
受取利息	12	6	1	—	6	1
支払利息	△ 1,669	△ 1,765	△ 788	△ 461	△ 251	△ 127
(B) 有価証券売買損益	△ 25,631,416	△ 120,237,112	△ 606,045	39,813,453	△ 115,570,283	83,385,740
売買益	926,860	2,157,218	167,953	40,040,535	448,185	84,309,373
売買損	△ 26,558,276	△ 122,394,330	△ 773,998	△ 227,082	△ 116,018,468	△ 923,633
(C) 信託報酬等	△ 1,831,230	△ 1,548,142	△ 1,507,260	△ 1,533,433	△ 1,360,064	△ 1,404,670
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	△ 25,603,753	△ 119,968,013	△ 327,615	40,048,100	△ 115,214,558	83,694,170
(E) 前期繰越損益金	△ 614,710,202	△ 621,030,928	△ 737,137,943	△ 737,507,626	△ 679,874,545	△ 789,279,409
(F) 追加信託差損益金	△ 639,296,231	△ 618,495,468	△ 614,247,625	△ 613,435,341	△ 596,751,383	△ 591,437,276
（配当等相当額）	(85,394,896)	(82,556,527)	(81,916,448)	(81,722,917)	(79,433,620)	(78,659,039)
（売買損益相当額）	(△ 724,691,127)	(△ 701,051,995)	(△ 696,164,073)	(△ 695,158,258)	(△ 676,185,003)	(△ 670,096,315)
(G) 合計（D＋E＋F）	△ 1,279,610,186	△ 1,359,494,409	△ 1,351,713,183	△ 1,310,894,867	△ 1,391,840,486	△ 1,297,022,515
(H) 収益分配金	△ 2,827,923	△ 2,733,277	△ 2,711,532	△ 2,704,584	△ 2,628,415	△ 2,602,500
次期繰越損益金（G＋H）	△ 1,282,438,109	△ 1,362,227,686	△ 1,354,424,715	△ 1,313,599,451	△ 1,394,468,901	△ 1,299,625,015
追加信託差損益金	△ 639,296,231	△ 618,495,468	△ 614,247,625	△ 613,435,341	△ 596,751,383	△ 591,437,276
（配当等相当額）	(85,394,896)	(82,556,527)	(81,916,448)	(81,722,917)	(79,433,620)	(78,659,039)
（売買損益相当額）	(△ 724,691,127)	(△ 701,051,995)	(△ 696,164,073)	(△ 695,158,258)	(△ 676,185,003)	(△ 670,096,315)
分配準備積立金	21,440,366	18,239,078	15,644,261	14,586,165	11,890,793	10,847,380
繰越損益金	△ 664,582,244	△ 761,971,296	△ 755,821,351	△ 714,750,275	△ 809,608,311	△ 719,035,119

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第95期	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期
(a) 経費控除後の配当等収益	27,663円	269,099円	278,430円	1,702,909円	355,725円	1,684,866円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	85,394,896	82,556,527	81,916,448	81,722,917	79,433,620	78,659,039
(d) 分配準備積立金	24,240,626	20,703,256	18,077,363	15,587,840	14,163,483	11,765,014
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	109,663,185	103,528,882	100,272,241	99,013,666	93,952,828	92,108,919
(f) 分配金	2,827,923	2,733,277	2,711,532	2,704,584	2,628,415	2,602,500
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	106,835,262	100,795,605	97,560,709	96,309,082	91,324,413	89,506,419
(h) 受益権総口数	2,827,923,345□	2,733,277,313□	2,711,532,267□	2,704,584,805□	2,628,415,788□	2,602,500,214□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金(税込み)	第95期	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期
		10円	10円	10円	10円	10円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

日本円コース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			アレリアンMLP指数 (米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
71期末(2020年11月20日)	2,508	30	13.0	4,510	21.5	—	98.3	309
72期末(2020年12月21日)	2,570	30	3.7	4,827	7.0	—	97.9	316
73期末(2021年1月20日)	2,713	30	6.7	5,255	8.9	—	98.1	313
74期末(2021年2月22日)	2,636	30	△ 1.7	5,177	△ 1.5	—	97.9	303
75期末(2021年3月22日)	2,770	30	6.2	5,661	9.4	—	97.9	317
76期末(2021年4月20日)	2,847	30	3.9	5,785	2.2	—	98.0	325
77期末(2021年5月20日)	3,072	30	9.0	6,374	10.2	—	96.7	319
78期末(2021年6月21日)	3,142	30	3.3	6,745	5.8	—	98.8	323
79期末(2021年7月20日)	2,881	30	△ 7.4	6,046	△ 10.4	—	97.9	297
80期末(2021年8月20日)	2,833	30	△ 0.6	5,977	△ 1.1	—	97.0	254
81期末(2021年9月21日)	2,914	30	3.9	6,046	1.2	—	97.9	256
82期末(2021年10月20日)	3,242	30	12.3	7,032	16.3	—	98.0	285
83期末(2021年11月22日)	3,020	10	△ 6.5	6,482	△ 7.8	—	98.2	261
84期末(2021年12月20日)	2,863	10	△ 4.9	6,143	△ 5.2	—	98.2	248
85期末(2022年1月20日)	3,153	10	10.5	7,071	15.1	—	99.0	264
86期末(2022年2月21日)	3,214	10	2.3	7,271	2.8	—	98.2	266
87期末(2022年3月22日)	3,322	10	3.7	7,416	2.0	—	97.9	277
88期末(2022年4月20日)	3,633	10	9.7	8,086	9.0	—	97.9	288
89期末(2022年5月20日)	3,410	10	△ 5.9	7,720	△ 4.5	—	98.6	277
90期末(2022年6月20日)	3,042	10	△ 10.5	6,972	△ 9.7	—	97.7	246
91期末(2022年7月20日)	3,249	10	7.1	7,509	7.7	—	98.2	263
92期末(2022年8月22日)	3,568	10	10.1	8,338	11.0	—	98.1	269
93期末(2022年9月20日)	3,470	10	△ 2.5	8,292	△ 0.6	—	96.8	266
94期末(2022年10月20日)	3,390	10	△ 2.0	8,275	△ 0.2	—	97.1	260
95期末(2022年11月21日)	3,539	10	4.7	8,691	5.0	—	98.4	265
96期末(2022年12月20日)	3,297	10	△ 6.6	8,184	△ 5.8	—	98.7	247
97期末(2023年1月20日)	3,484	10	6.0	8,807	7.6	—	98.4	259
98期末(2023年2月20日)	3,411	10	△ 1.8	8,998	2.2	—	98.5	244
99期末(2023年3月20日)	3,157	10	△ 7.2	8,442	△ 6.2	—	98.0	218
100期末(2023年4月20日)	3,285	10	4.4	8,865	5.0	—	98.7	227

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) アレリアンMLP指数(米ドルベース)は、Alerian MLP Total Return Index(米ドルベース)の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。Alerian MLP Total Return Index(米ドルベース)はGKD Index Partners LLC d/b/a Alerianが算出しており、その商標を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

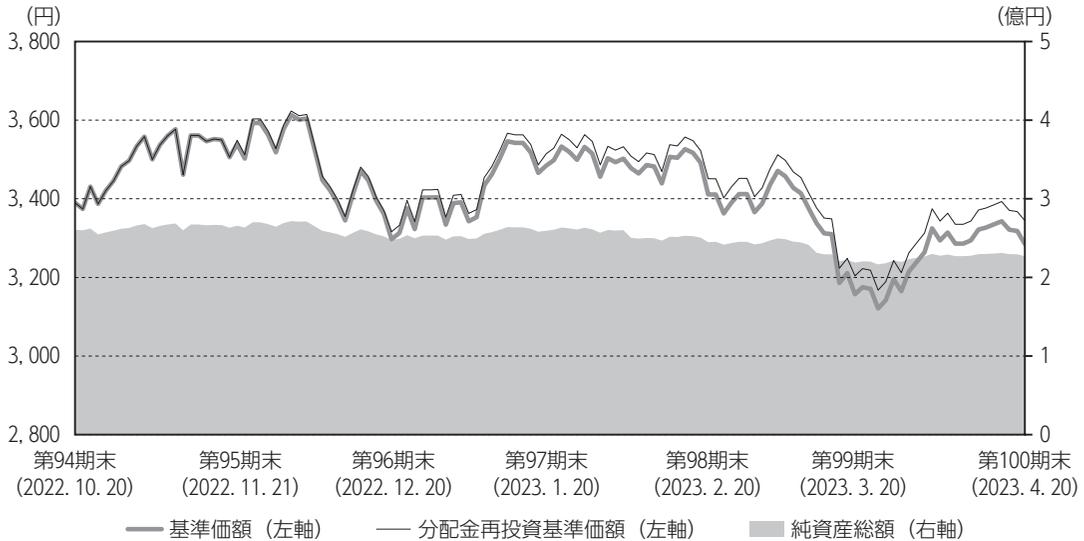
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第95期首：3,390円

第100期末：3,285円（既払分配金60円）

騰落率：△1.4%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

MLP（※）市況は上昇したものの、保有銘柄の下落や為替ヘッジコストの上昇などがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※MLPは、米国で行われている共同投資事業形態のひとつであり、その出資持分が米国の金融商品取引所等で取引されています。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 日本円コース

	年 月 日	基 準 価 額		アレリアンMLP指数 (米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	%	(参考指数)	騰 落 率		
第95期	(期首)2022年10月20日	3,390	—	8,275	—	—	97.1
	10月末	3,497	3.2	8,670	4.8	—	97.8
	(期末)2022年11月21日	3,549	4.7	8,691	5.0	—	98.4
第96期	(期首)2022年11月21日	3,539	—	8,691	—	—	98.4
	11月末	3,577	1.1	8,766	0.9	—	98.3
	(期末)2022年12月20日	3,307	△ 6.6	8,184	△ 5.8	—	98.7
第97期	(期首)2022年12月20日	3,297	—	8,184	—	—	98.7
	12月末	3,389	2.8	8,385	2.5	—	98.0
	(期末)2023年1月20日	3,494	6.0	8,807	7.6	—	98.4
第98期	(期首)2023年1月20日	3,484	—	8,807	—	—	98.4
	1月末	3,456	△ 0.8	8,924	1.3	—	98.6
	(期末)2023年2月20日	3,421	△ 1.8	8,998	2.2	—	98.5
第99期	(期首)2023年2月20日	3,411	—	8,998	—	—	98.5
	2月末	3,412	0.0	8,926	△ 0.8	—	98.3
	(期末)2023年3月20日	3,167	△ 7.2	8,442	△ 6.2	—	98.0
第100期	(期首)2023年3月20日	3,157	—	8,442	—	—	98.0
	3月末	3,240	2.6	8,751	3.7	—	97.9
	(期末)2023年4月20日	3,295	4.4	8,865	5.0	—	98.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2022. 10. 21 ~ 2023. 4. 20)

■MLP市況

MLP市況は上昇しました。

MLP市場は、当作成期首から2022年11月末にかけては、英国市場の混乱が収束して欧米の金利上昇が一服したことや、米国のインフレ率が予想を下回ったことなどが好感されて上昇しました。年末にかけては、米国の景況感や企業業績の悪化懸念などから下落しましたが、2023年に入ると、賃金上昇率の鈍化でFRB（米国連邦準備制度理事会）の利上げペースが減速するとの期待などから上昇しました。2月から3月半ばにかけては、予想を上回る経済指標の発表が相次ぎ金利が上昇したことや、米国の地方銀行の経営破綻を受けて下落しましたが、その後は、FRBによる緊急融資枠の新設で資金繰り懸念が後退したことなどが好感され、上昇に転じました。4月に入り、米国地方銀行の経営不安が再燃する一方、予想を上回る企業決算の発表が好感されるなど好悪材料が入り交じり、小幅に上昇して当作成期末を迎えました。

■前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）：CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）

■アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）

良好な財務体質、生産性の高い地域における施設の保有、低いカウンターパーティーリスク（取引相手の信用リスク）、優れた経営陣を有する企業が選好されると考えており、これらを重視したポートフォリオを構築します。

また、為替変動リスクを低減するため為替ヘッジを行います。

なお、ファンド満期償還時（2024年10月予定）の税制面への対応のため、2022年12月中旬をめどに保有するMLPを売却し、MLP市場に投資するETF（上場投資信託）へ切替えを行います。また、川中事業を中心に行う普通株式（以下、川中関連株式）も一定程度組み入れることで、バランスの取れたポートフォリオを構築し、運用を行ってまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2022. 10. 21 ~ 2023. 4. 20)

■当ファンド

当ファンドは、「アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。当完成期は「アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）」を高位に組み入れました。

■アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）

ファンド満期償還時（2024年10月予定）の税制面への対応のため、2022年12月中に保有するMLPをすべて売却し、MLP市場に投資するETF（上場投資信託）へ切り替えを行いました。また、川中関連株式を厳選し、ETFと川中関連株式で新たなポートフォリオを構築しました。

株式部分の運用においては、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、銘柄の選定を行いました。

また、為替変動リスクを低減するため為替ヘッジを行いました。

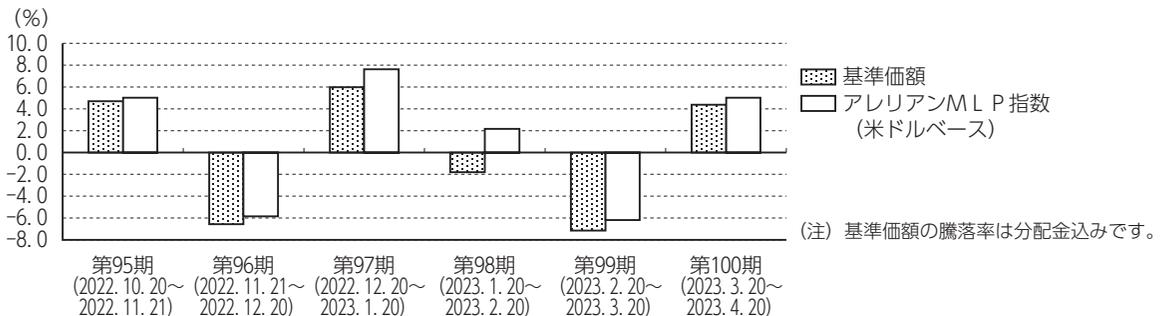
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドは、参考指数と比較して「原油・精製品パイプライン、貯蔵」の組入比率が低いという特徴があります。参考指数はMLP市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第95期	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期
	2022年10月21日 ～2022年11月21日	2022年11月22日 ～2022年12月20日	2022年12月21日 ～2023年1月20日	2023年1月21日 ～2023年2月20日	2023年2月21日 ～2023年3月20日	2023年3月21日 ～2023年4月20日
当期分配金(税込み) (円)	10	10	10	10	10	10
対基準価額比率 (%)	0.28	0.30	0.29	0.29	0.32	0.30
当期の収益 (円)	6	3	6	2	3	6
当期の収益以外 (円)	3	6	3	7	6	3
翌期繰越分配対象額 (円)	432	425	421	414	407	403

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第95期	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 6.47円	✓ 3.02円	✓ 6.49円	✓ 2.65円	✓ 3.23円	✓ 6.43円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 435.64	✓ 432.11	✓ 425.14	✓ 421.63	✓ 414.29	✓ 407.53
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	442.11	435.14	431.63	424.29	417.53	413.96
(f) 分配金	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	432.11	425.14	421.63	414.29	407.53	403.96

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）

ファンドの満期償還に向けて、MLP市場に投資するETF（上場投資信託）および川中関連株式を組み合わせ、バランスの取れたポートフォリオで運用を継続する方針です。川中関連株式については、規模と安定性に優れ、世界のエネルギー需要の拡大から恩恵を受ける大型の銘柄を中心に、銘柄を厳選してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第95期～第100期 (2022. 10. 21～2023. 4. 20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	22円	0.642%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は3,421円です。
(投 信 会 社)	(7)	(0.219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(14)	(0.410)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	22	0.646	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

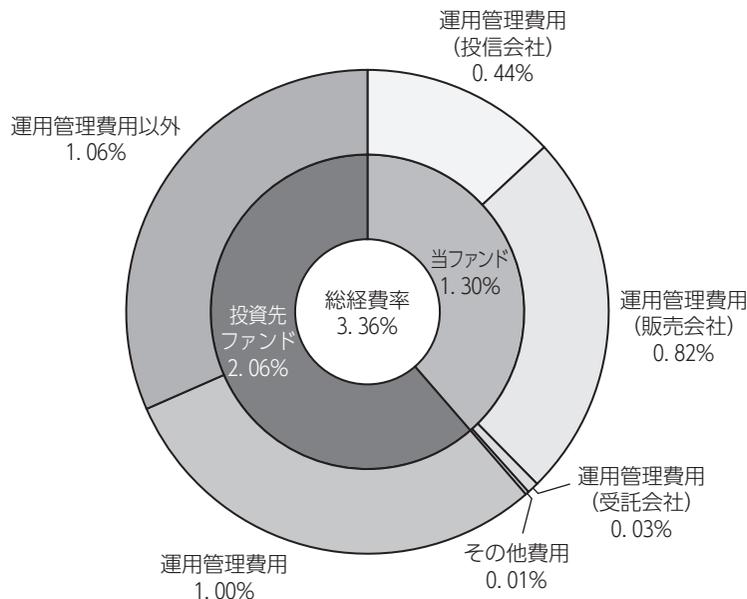
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.36%です。



総経費率 (① + ② + ③)	3.36%
①当ファンドの費用の比率	1.30%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.00%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	1.06%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、MLP投資に関連して還付が見込まれる税金および還付された税金を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2022年10月21日から2023年4月20日まで)

決算期	第 95 期 ~ 第 100 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	81.14871	2,897	788.87887	28,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2022年10月21日から2023年4月20日まで)

第 95 期 ~				第 100 期			
買 付			売 付				
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				AMERICAN MLP FUND JPY HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	788.87887	28,000	35

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 100 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AMERICAN MLP FUND JPY HEDGED CLASS	6,531.12923	224,102	98.7

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第94期末	第 100 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・ マザーファンド	6	6	7

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年4月20日現在

項 目	第 100 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	224,102	98.3
ダイワ・マネー・マザーファンド	7	0.0
コール・ローン等、その他	3,870	1.7
投資信託財産総額	227,980	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 日本円コース

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年11月21日)、(2022年12月20日)、(2023年1月20日)、(2023年2月20日)、(2023年3月20日)、(2023年4月20日)現在

項目	第95期末	第96期末	第97期末	第98期末	第99期末	第100期末
(A) 資産	266,769,714円	248,463,470円	260,365,044円	245,785,261円	219,667,226円	227,980,353円
コール・ローン等	5,351,478	4,204,326	5,105,863	4,752,541	5,370,990	3,870,639
投資信託受益証券（評価額）	261,411,158	244,252,066	255,252,104	241,025,643	214,289,159	224,102,637
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	7,078	7,078	7,077	7,077	7,077	7,077
(B) 負債	1,051,267	1,023,949	1,029,480	1,005,695	939,171	951,002
未払収益分配金	750,818	750,514	744,264	717,631	692,873	691,156
未払解約金	—	—	815	—	—	3,343
未払信託報酬	298,557	269,833	279,029	280,917	237,647	246,297
その他未払費用	1,892	3,602	5,372	7,147	8,651	10,206
(C) 純資産総額（A－B）	265,718,447	247,439,521	259,335,564	244,779,566	218,728,055	227,029,351
元本	750,818,079	750,514,747	744,264,316	717,631,601	692,873,104	691,156,459
次期繰越損益金	△ 485,099,632	△ 503,075,226	△ 484,928,752	△ 472,852,035	△ 474,145,049	△ 464,127,108
(D) 受益権総口数	750,818,079口	750,514,747口	744,264,316口	717,631,601口	692,873,104口	691,156,459口
1万口当り基準価額（C/D）	3,539円	3,297円	3,484円	3,411円	3,157円	3,285円

* 当作成期首における元本額は769,190,454円、当作成期間（第95期～第100期）中における追加設定元本額は8,110,094円、同解約元本額は86,144,089円です。

* 第100期末の計算口数当りの純資産額は3,285円です。

* 第100期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は464,127,108円です。

■損益の状況

第95期 自 2022年10月21日 至 2022年11月21日 第97期 自 2022年12月21日 至 2023年1月20日 第99期 自 2023年2月21日 至 2023年3月20日
 第96期 自 2022年11月22日 至 2022年12月20日 第98期 自 2023年1月21日 至 2023年2月20日 第100期 自 2023年3月21日 至 2023年4月20日

項目	第95期	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期
(A) 配当等収益	498,483円	498,875円	492,468円	473,328円	463,590円	456,215円
受取配当金	498,799	499,148	492,581	473,402	463,623	456,236
受取利息	1	—	—	—	1	—
支払利息	△ 317	△ 273	△ 113	△ 74	△ 34	△ 21
(B) 有価証券売買損益	11,777,931	△ 17,647,339	14,487,048	△ 4,750,651	△ 17,134,720	9,324,377
売買益	11,851,447	11,621	14,507,031	60,096	82,098	9,357,239
売買損	△ 73,516	△ 17,658,960	△ 19,983	△ 4,810,747	△ 17,216,818	△ 32,862
(C) 信託報酬等	300,449	△ 271,543	△ 280,799	△ 282,692	△ 239,151	△ 247,852
(D) 当期損益金（A+B+C）	11,975,965	△ 17,420,007	14,698,717	△ 4,560,015	△ 16,910,281	9,532,740
(E) 前期繰越損益金	△ 241,605,795	△ 229,611,664	△ 244,745,622	△ 221,868,573	△ 218,401,187	△ 234,485,763
(F) 追加信託差損益金	△ 254,718,984	△ 255,293,041	△ 254,137,583	△ 245,705,816	△ 238,140,708	△ 238,482,929
(配当等相当額)	(32,708,662)	(32,431,056)	(31,642,155)	(30,258,089)	(28,705,505)	(28,167,135)
(売買損益相当額)	(△ 287,427,646)	(△ 287,724,097)	(△ 285,779,738)	(△ 275,963,905)	(△ 266,846,213)	(△ 266,650,064)
(G) 合計（D+E+F）	△ 484,348,814	△ 502,324,712	△ 484,184,488	△ 472,134,404	△ 473,452,176	△ 463,435,952
(H) 収益分配金	△ 750,818	△ 750,514	△ 744,264	△ 717,631	△ 692,873	△ 691,156
次期繰越損益金（G+H）	△ 485,099,632	△ 503,075,226	△ 484,928,752	△ 472,852,035	△ 474,145,049	△ 464,127,108
追加信託差損益金	△ 254,983,517	△ 255,816,223	△ 254,398,617	△ 246,232,811	△ 238,609,142	△ 238,729,420
(配当等相当額)	(32,444,129)	(31,907,874)	(31,381,121)	(29,731,094)	(28,237,071)	(27,920,644)
(売買損益相当額)	(△ 287,427,646)	(△ 287,724,097)	(△ 285,779,738)	(△ 275,963,905)	(△ 266,846,213)	(△ 266,650,064)
繰越損益金	△ 230,116,115	△ 247,259,003	△ 230,530,135	△ 226,619,224	△ 235,535,907	△ 225,397,688

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第95期	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期
(a) 経費控除後の配当等収益	486,285円	227,332円	483,230円	190,636円	224,439円	444,665円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	32,708,662	32,431,056	31,642,155	30,258,089	28,705,505	28,167,135
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	33,194,947	32,658,388	32,125,385	30,448,725	28,929,944	28,611,800
(f) 分配金	750,818	750,514	744,264	717,631	692,873	691,156
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	32,444,129	31,907,874	31,381,121	29,731,094	28,237,071	27,920,644
(h) 受益権総口数	750,818,079□	750,514,747□	744,264,316□	717,631,601□	692,873,104□	691,156,459□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金(税込み)	第95期	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期
		10円	10円	10円	10円	10円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

通貨αコース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			公社債組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み 分配金	期騰落 率			
	円	円	%	%	%	百万円
71期末(2020年11月20日)	1,586	20	11.8	—	98.0	599
72期末(2020年12月21日)	1,623	20	3.6	—	97.9	590
73期末(2021年1月20日)	1,719	20	7.1	—	98.2	615
74期末(2021年2月22日)	1,685	20	△ 0.8	—	98.5	589
75期末(2021年3月22日)	1,805	20	8.3	—	97.9	613
76期末(2021年4月20日)	1,848	20	3.5	—	98.1	624
77期末(2021年5月20日)	2,006	20	9.6	—	98.2	660
78期末(2021年6月21日)	2,080	20	4.7	—	98.0	680
79期末(2021年7月20日)	1,894	20	△ 8.0	—	97.8	613
80期末(2021年8月20日)	1,872	20	△ 0.1	—	98.0	600
81期末(2021年9月21日)	1,935	20	4.4	—	98.0	589
82期末(2021年10月20日)	2,201	20	14.8	—	98.3	663
83期末(2021年11月22日)	2,043	10	△ 6.7	—	98.7	599
84期末(2021年12月20日)	1,935	10	△ 4.8	—	97.9	553
85期末(2022年1月20日)	2,139	10	11.1	—	98.9	596
86期末(2022年2月21日)	2,192	10	2.9	—	98.6	607
87期末(2022年3月22日)	2,314	10	6.0	—	98.8	635
88期末(2022年4月20日)	2,648	10	14.9	—	98.8	732
89期末(2022年5月20日)	2,452	10	△ 7.0	—	98.7	671
90期末(2022年6月20日)	2,284	10	△ 6.4	—	97.6	606
91期末(2022年7月20日)	2,478	10	8.9	—	98.3	657
92期末(2022年8月22日)	2,724	10	10.3	—	98.2	698
93期末(2022年9月20日)	2,716	10	0.1	—	98.3	691
94期末(2022年10月20日)	2,744	10	1.4	—	98.9	687
95期末(2022年11月21日)	2,723	10	△ 0.4	—	98.0	666
96期末(2022年12月20日)	2,502	10	△ 7.7	—	96.8	605
97期末(2023年1月20日)	2,509	10	0.7	—	97.4	606
98期末(2023年2月20日)	2,540	10	1.6	—	98.3	612
99期末(2023年3月20日)	2,312	10	△ 8.6	—	98.0	554
100期末(2023年4月20日)	2,464	10	7.0	—	98.0	586

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

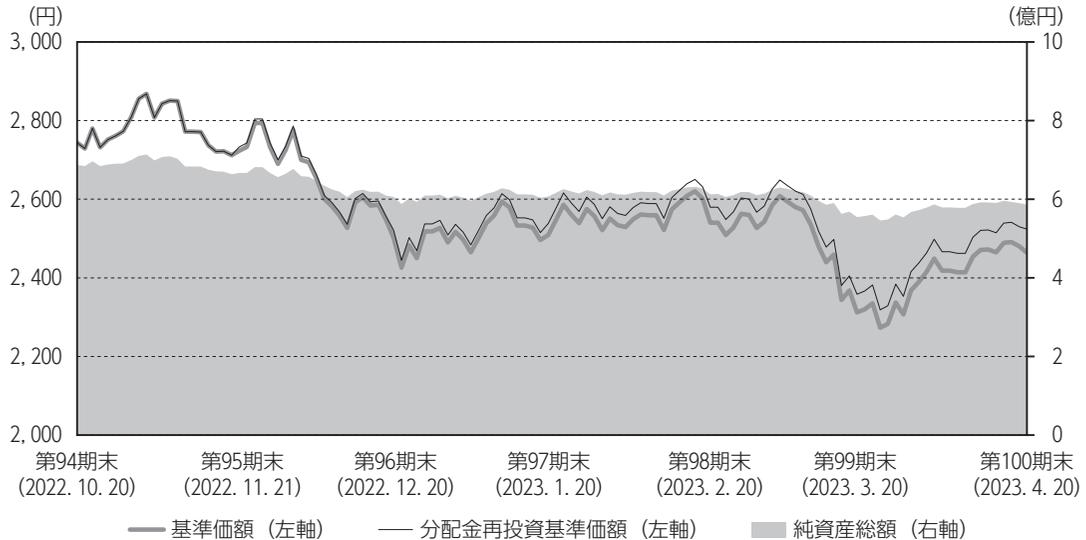
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第95期首：2,744円

第100期末：2,464円（既払分配金60円）

騰落率：△8.0%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

MLP（※）市況は上昇したものの、保有銘柄の下落や米ドルが対円で下落（円高）したことがマイナス要因となりました。オプション部分については、プレミアム収入（円に対する米ドルのコール・オプション（買う権利）の売却）は基準価額のプラス要因となりましたが、円に対する米ドルのコール・オプションを売却している中で、米ドル円が上昇する場面があったことなどが、基準価額の上昇を抑制しました。こうした市場の動きを背景に、当作成期の基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※MLPは、米国で行われている共同投資事業形態のひとつであり、その出資持分が米国の金融商品取引所等で取引されています。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 通貨αコース

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率 %		
第95期	(期首)2022年10月20日	2,744	—	—	98.9
	10月末	2,809	2.4	—	98.3
	(期末)2022年11月21日	2,733	△ 0.4	—	98.0
第96期	(期首)2022年11月21日	2,723	—	—	98.0
	11月末	2,725	0.1	—	98.4
	(期末)2022年12月20日	2,512	△ 7.7	—	96.8
第97期	(期首)2022年12月20日	2,502	—	—	96.8
	12月末	2,517	0.6	—	97.0
	(期末)2023年1月20日	2,519	0.7	—	97.4
第98期	(期首)2023年1月20日	2,509	—	—	97.4
	1月末	2,521	0.5	—	97.5
	(期末)2023年2月20日	2,550	1.6	—	98.3
第99期	(期首)2023年2月20日	2,540	—	—	98.3
	2月末	2,560	0.8	—	98.2
	(期末)2023年3月20日	2,322	△ 8.6	—	98.0
第100期	(期首)2023年3月20日	2,312	—	—	98.0
	3月末	2,390	3.4	—	98.2
	(期末)2023年4月20日	2,474	7.0	—	98.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2022. 10. 21 ~ 2023. 4. 20）

■MLP市況

MLP市況は上昇しました。

MLP市場は、当作成期首から2022年11月末にかけては、英国市場の混乱が収束して欧米の金利上昇が一服したことや、米国のインフレ率が予想を下回ったことなどが好感されて上昇しました。年末にかけては、米国の景況感や企業業績の悪化懸念などから下落しましたが、2023年に入ると、賃金上昇率の鈍化でFRB（米国連邦準備制度理事会）の利上げペースが減速するとの期待などから上昇しました。2月から3月半ばにかけては、予想を上回る経済指標の発表が相次ぎ金利が上昇したことや、米国の地方銀行の経営破綻を受けて下落しましたが、その後は、FRBによる緊急融資枠の新設で資金繰り懸念が後退したことなどが好感され、上昇に転じました。4月に入り、米国地方銀行の経営不安が再燃する一方、予想を上回る企業決算の発表が好感されるなど好悪材料が入り交じり、小幅に上昇して当作成期末を迎えました。

■為替相場

米ドル円為替相場は下落しました。

米ドルの対円為替相場は、当作成期首より、インフレ率の低下期待などから米国金利が低下したことで日米金利差の縮小が意識され、円高米ドル安となりました。2022年12月は、日銀が想定外の政策修正を行ったことで金融緩和政策の転換などが意識され、日本の長期金利が大きく上昇するとともに円高米ドル安が進行しました。2023年1月には、日銀が金融緩和政策の維持を決定したことで一時的に円安米ドル高が進行する局面もありましたが、日米金利差の縮小などにより円高米ドル安基調が継続しました。しかし2月に入り、堅調な米国の経済指標を受けて米国金利が大きく上昇したことで、円安米ドル高に転じました。3月は、信用不安の拡大により米国金利が大きく低下したことや、リスク回避による円買い需要の高まりなどから、円高米ドル安となりました。4月には、月後半にかけて5月のFOMC（米国連邦公開市場委員会）での利上げが意識される展開となり、小幅に円安米ドル高の動きで当作成期末を迎えました。

■通貨オプション相場

通貨オプションのボラティリティは、低下しました。

米国の地方銀行が経営破綻し、為替相場の先行き不透明感が高まったことなどから、ボラティリティが上昇する場面も見られました。しかし、急速な円安が止まり、円高に転じたことなどから、為替相場の先行き不透明感が後退し、ボラティリティは低下しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）：CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）

■アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）

良好な財務体質、生産性の高い地域における施設の保有、低いカウンターパーティーリスク（取引相手の信用リスク）、優れた経営陣を有する企業が選好されると考えており、これらを重視したポートフォリオを構築します。

円に対する米ドルのコール・オプション（買う権利）を売却することで、オプションのプレミアム収入の確保をめざします。また、オプションのカバー率は、保有する米ドル建資産の評価額の50%程度を維持する方針です。

なお、ファンド満期償還時（2024年10月予定）の税制面への対応のため、2022年12月中旬をめどに保有するMLPを売却し、MLP市場に投資するETF（上場投資信託）へ切替えを行います。また、川中事業を中心に行う普通株式（以下、川中関連株式）も一定程度組み入れることで、バランスの取れたポートフォリオを構築し、運用を行ってまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2022. 10. 21 ~ 2023. 4. 20）

■当ファンド

当ファンドは、「アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期は「アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）」を高位に組み入れました。

■アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）

ファンド満期償還時（2024年10月予定）の税制面への対応のため、2022年12月中に保有するMLPをすべて売却し、MLP市場に投資するETF（上場投資信託）へ切り替えを行いました。また、川中関連株式を厳選し、ETFと川中関連株式で新たなポートフォリオを構築しました。

株式部分の運用においては、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、銘柄の選定を行いました。

円に対する米ドルのコール・オプション（買う権利）を売却することで、オプションのプレミアム収入の確保をめざしました。また、オプションのカバー率は、保有する米ドル建資産の評価額の50%程度を維持しました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第95期	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期
	2022年10月21日 ～2022年11月21日	2022年11月22日 ～2022年12月20日	2022年12月21日 ～2023年1月20日	2023年1月21日 ～2023年2月20日	2023年2月21日 ～2023年3月20日	2023年3月21日 ～2023年4月20日
当期分配金(税込み) (円)	10	10	10	10	10	10
対基準価額比率 (%)	0.37	0.40	0.40	0.39	0.43	0.40
当期の収益 (円)	2	3	5	5	3	5
当期の収益以外 (円)	7	6	4	4	6	4
翌期繰越分配対象額 (円)	481	475	470	465	459	455

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計上上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第95期	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 2.95円	✓ 3.32円	✓ 5.18円	✓ 5.65円	✓ 3.55円	✓ 5.96円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 487.72	✓ 481.68	✓ 475.00	✓ 470.18	✓ 465.84	✓ 459.39
(d) 分配準備積立金	✓ 0.96	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	491.64	485.00	480.18	475.84	469.39	465.36
(f) 分配金	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	481.64	475.00	470.18	465.84	459.39	455.36

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）

ファンドの満期償還に向けて、MLP市場に投資するETF（上場投資信託）および川中関連株式を組み合わせ、バランスの取れたポートフォリオで運用を継続する方針です。川中関連株式については、規模と安定性に優れ、世界のエネルギー需要の拡大から恩恵を受ける大型の銘柄を中心に、銘柄を厳選してまいります。

円に対する米ドルのコール・オプション（買う権利）を売却することで、オプションのプレミアム収入の確保をめざします。また、オプションのカバー率は、保有する米ドル建資産の評価額の50%程度を維持する方針です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第95期～第100期 (2022. 10. 21～2023. 4. 20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	16円	0.640%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は2,569円です。
（投 信 会 社）	(6)	(0.218)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(11)	(0.410)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(0)	(0.012)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	0	0.008	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託受益証券）	(0)	(0.008)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.002	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	17	0.651	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

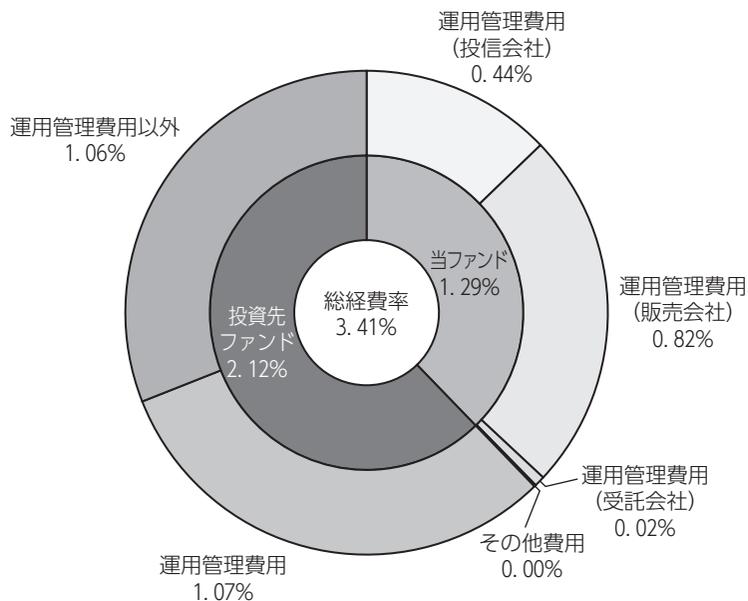
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含まず。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.41%です。



総経費率（① + ② + ③）	3.41%
①当ファンドの費用の比率	1.29%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.07%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	1.06%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、MLP投資に関連して還付が見込まれる税金および還付された税金を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2022年10月21日から2023年4月20日まで)

決算期	第 95 期 ~ 第 100 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	303,29832	8,854	1,889,04077	55,944

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2022年10月21日から2023年4月20日まで)

第 95 期 ~ 第 100 期							
買 付		売 付					
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				AMERICAN MLP FUND CURRENCY ALPHA CLASS (ケイマン諸島)	1,889,04077	55,944	29

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 100 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AMERICAN MLP FUND CURRENCY ALPHA CLASS	20,493,27145	574,815	98.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第94期末	第 100 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	9	9	9

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年4月20日現在

項 目	第 100 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	574,815	96.9
ダイワ・マネー・マザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	18,593	3.1
投資信託財産総額	593,418	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年11月21日)、(2022年12月20日)、(2023年1月20日)、(2023年2月20日)、(2023年3月20日)、(2023年4月20日)現在

項目	第95期末	第96期末	第97期末	第98期末	第99期末	第100期末
(A) 資産	681,598,225円	609,715,013円	610,058,392円	616,336,494円	558,038,016円	593,418,794円
コール・ローン等	14,423,632	23,237,462	18,780,382	14,501,618	14,794,484	18,593,391
投資信託受益証券（評価額）	653,178,960	586,467,917	591,268,377	601,825,243	543,233,899	574,815,770
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	9,634	9,634	9,633	9,633	9,633	9,633
未収入金	13,985,999	—	—	—	—	—
(B) 負債	15,039,619	3,868,671	3,107,488	3,889,154	3,574,589	7,011,091
未払金	6,993,000	—	—	—	—	—
未払収益分配金	2,447,630	2,421,658	2,419,185	2,411,524	2,398,196	2,379,419
未払解約金	4,813,272	774,900	7,482	781,800	554,049	3,978,540
未払信託報酬	780,748	662,928	667,393	678,091	600,787	627,581
その他未払費用	4,969	9,185	13,428	17,739	21,557	25,551
(C) 純資産総額（A－B）	666,558,606	605,846,342	606,950,904	612,447,340	554,463,427	586,407,703
元本	2,447,630,536	2,421,658,606	2,419,185,063	2,411,524,361	2,398,196,188	2,379,419,463
次期繰越損益金	△ 1,781,071,930	△ 1,815,812,264	△ 1,812,234,159	△ 1,799,077,021	△ 1,843,732,761	△ 1,793,011,760
(D) 受益権総口数	2,447,630,536口	2,421,658,606口	2,419,185,063口	2,411,524,361口	2,398,196,188口	2,379,419,463口
1万口当り基準価額（C/D）	2,723円	2,502円	2,509円	2,540円	2,312円	2,464円

* 当作成期首における元本額は2,505,731,316円、当作成期間（第95期～第100期）中における追加設定元本額は54,303,648円、同解約元本額は180,615,501円です。

* 第100期末の計算口数当りの純資産額は2,464円です。

* 第100期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,793,011,760円です。

■損益の状況

第95期 自 2022年10月21日 至 2022年11月21日 第97期 自 2022年12月21日 至 2023年1月20日 第99期 自 2023年2月21日 至 2023年3月20日
 第96期 自 2022年11月22日 至 2022年12月20日 第98期 自 2023年1月21日 至 2023年2月20日 第100期 自 2023年3月21日 至 2023年4月20日

項目	第95期	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期
(A) 配当等収益	1,509,406円	1,471,320円	1,457,007円	1,458,396円	1,457,133円	1,443,615円
受取配当金	1,510,058	1,472,032	1,457,572	1,458,643	1,457,225	1,443,696
受取利息	—	—	—	—	3	1
支払利息	△ 652	△ 712	△ 565	△ 247	△ 95	△ 82
(B) 有価証券売買損益	△ 3,312,365	△ 51,498,555	3,357,679	9,052,146	△ 53,051,978	37,850,289
売買益	407,397	698,011	3,358,884	9,095,604	60,925	38,125,847
売買損	△ 3,719,762	△ 52,196,566	△ 1,205	△ 43,458	△ 53,112,903	△ 275,558
(C) 信託報酬等	△ 785,717	△ 667,144	△ 671,636	△ 682,402	△ 604,605	△ 631,575
(D) 当期損益金（A + B + C）	△ 2,588,676	△ 50,694,379	4,143,050	9,828,140	△ 52,199,450	38,662,329
(E) 前期繰越損益金	△ 1,078,862,796	△ 1,055,351,207	△ 1,103,999,334	△ 1,095,908,152	△ 1,079,801,258	△ 1,122,078,327
(F) 追加信託差損益金	△ 697,172,828	△ 707,345,020	△ 709,958,690	△ 710,585,485	△ 709,333,857	△ 707,216,343
（配当等相当額）	(119,376,538)	(116,647,432)	(114,912,494)	(113,386,933)	(111,718,245)	(109,310,038)
（売買損益相当額）	(△ 816,549,366)	(△ 823,992,452)	(△ 824,871,184)	(△ 823,972,418)	(△ 821,052,102)	(△ 816,526,381)
(G) 合計（D + E + F）	△ 1,778,624,300	△ 1,813,390,606	△ 1,809,814,974	△ 1,796,665,497	△ 1,841,334,565	△ 1,790,632,341
(H) 収益分配金	△ 2,447,630	△ 2,421,658	△ 2,419,185	△ 2,411,524	△ 2,398,196	△ 2,379,419
次期繰越損益金（G + H）	△ 1,781,071,930	△ 1,815,812,264	△ 1,812,234,159	△ 1,799,077,021	△ 1,843,732,761	△ 1,793,011,760
追加信託差損益金	△ 698,661,379	△ 708,962,502	△ 711,124,105	△ 711,633,330	△ 710,879,525	△ 708,175,326
（配当等相当額）	(117,887,987)	(115,029,950)	(113,747,079)	(112,339,088)	(110,172,577)	(108,351,055)
（売買損益相当額）	(△ 816,549,366)	(△ 823,992,452)	(△ 824,871,184)	(△ 823,972,418)	(△ 821,052,102)	(△ 816,526,381)
繰越損益金	△ 1,082,410,551	△ 1,106,849,762	△ 1,101,110,054	△ 1,087,443,691	△ 1,132,853,236	△ 1,084,836,434

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第95期	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期
(a) 経費控除後の配当等収益	723,689円	804,176円	1,253,770円	1,363,679円	852,528円	1,420,436円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	119,376,538	116,647,432	114,912,494	113,386,933	111,718,245	109,310,038
(d) 分配準備積立金	235,390	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	120,335,617	117,451,608	116,166,264	114,750,612	112,570,773	110,730,474
(f) 分配金	2,447,630	2,421,658	2,419,185	2,411,524	2,398,196	2,379,419
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	117,887,987	115,029,950	113,747,079	112,339,088	110,172,577	108,351,055
(h) 受益権総口数	2,447,630,536口	2,421,658,606口	2,419,185,063口	2,411,524,361口	2,398,196,188口	2,379,419,463口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金(税込み)	第95期	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期
		10円	10円	10円	10円	10円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

<ul style="list-style-type: none"> ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。 ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

アメリカンMLPファンド
（ノンヘッジクラス／円ヘッジクラス／通貨αクラス）

当ファンド（ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）米ドルコース／日本円コース／通貨αコース）はケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス／円ヘッジクラス／通貨αクラス）」の受益証券（円建）を主要投資対象としております。以下の内容は、直近で入手可能なFinancial Statements等から抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

（米ドル建て）

貸借対照表
2022年3月31日

資産	
投資資産の評価額（簿価 \$12,045,214）	\$ 19,667,092
現金および現金同等物	382,335
外国為替先渡取引による評価益	207,948
スポット取引による評価益	2,500
売却した投資に係る未収金	253,420
未収配当金	4,700
未収法人税等	1,083,582
資産合計	21,601,577
負債	
売建てオプションの評価額（受取済プレミアム \$39,293）	16,019
外国為替先渡取引による評価損	246,836
スポット取引による評価損	5
未払：	
購入済みの投資	193,630
償還済み受益証券	148,301
専門家報酬	122,603
運用会社報酬	14,181
会計および管理会社報酬	9,997
受託会社報酬	3,810
保管会社報酬	2,998
名義書換代理人報酬	1,200
為替運用会社報酬	490
計算代理人報酬	26
未払当期所得税	132,523
繰延税金負債	654,836
負債合計	1,547,455
純資産	\$ 20,054,122
純資産の内訳：	
払込資本金	\$ 260,929,029
（受益者への分配金）	(109,923,964)
繰越損失	(130,950,943)
純資産	\$ 20,054,122
クラス別純資産：	
通貨αクラス	\$ 5,455,378

円ヘッジクラス		2,221,007
ノンヘッジクラス		12,377,737
		\$ 20,054,122
発行済み受益証券口数		
通貨αクラス		24,663,122
円ヘッジクラス		7,590,117
ノンヘッジクラス		31,867,632
受益証券1口当り純資産額		
通貨αクラス	\$	0.221
円ヘッジクラス	\$	0.293
ノンヘッジクラス	\$	0.388

損益計算書

2022年3月31日で終了した年度

投資収益

配当収益（源泉徴収税 \$53,684控除後）	\$	140,393
マスター・リミテッド・パートナーシップからの分配金 （元本払戻金（特別分配金））		847,968 (847,968)
受取利息		29,643
投資収益合計		170,036

費用

専門家報酬		210,601
運用会社報酬		98,943
会計および管理会社報酬		59,999
保管会社報酬		17,835
受託会社報酬		15,450
為替運用会社報酬		5,536
名義書換代理人報酬		5,271
州法人税		1,197
計算代理人報酬		755
費用合計		415,587

税引前投資損失		(245,551)
当期所得税および法人税等調整額		(141,748)
税引後投資純損失		(387,299)

実現利益（損）および評価益（損）：

実現利益（損）：		
証券投資		139,007
外国為替取引および外国為替先渡取引		(274,288)
売建オプション		(191,221)
実現損失		(326,502)
評価益（損）の純変動の内訳：		
証券投資		6,660,793
外国為替換算および外国為替先渡取引		59,126
売建オプション		49,749
評価益（損）の純変動		6,769,668
実現損および評価益（損）の純変動		6,443,166
運用による純資産の純増	\$	6,055,867

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）

投資明細表
2022/3/31現在

株数 / 出資口数	証券の明細	評価額
	普通株 (44.8%)	
	カナダ (6.3%)	
	エネルギー中流事業 (6.3%)	
10,932	Enbridge, Inc.	\$ 503,855
10,640	Pembina Pipeline Corp.	400,064
6,230	TC Energy Corp.	351,497
		<hr/>
	カナダ合計 (簿価 \$935,644)	1,255,416
	米国 (38.5%)	
	エネルギー中流事業 (11.7%)	
47,200	Kinder Morgan, Inc.	892,552
20,650	ONEOK, Inc.	1,458,510
		<hr/>
		2,351,062
	集積・処理 (10.6%)	
12,239	Hess Midstream LP	367,170
23,400	Targa Resources Corp.	1,765,998
		<hr/>
		2,133,168
	天然ガス パイプライン・貯蔵 (16.2%)	
12,366	Cheniere Energy, Inc.	1,714,546
46,040	Williams Cos., Inc.	1,538,196
		<hr/>
		3,252,742
	米国合計 (簿価 \$3,647,135)	\$ 7,736,972
	普通株合計 (簿価 \$4,582,779) (44.8%)	\$ 8,992,388
	マスター・リミテッド・パートナーシップ (53.3%)	
	米国 (53.3%)	
	集積・処理 (17.1%)	
20,800	Crestwood Equity Partners LP	622,336
27,000	DCP Midstream LP	906,120
57,370	MPLX LP	1,903,537
		<hr/>
		3,431,993
	原油・精製品のパイプライン・貯蔵 (17.1%)	
29,288	Magellan Midstream Partners LP	1,437,162
47,200	NuStar Energy LP	680,624
122,687	Plains All American Pipeline LP	1,320,112
		<hr/>
		3,437,898
	パイプライン, 貯蔵・処理 (19.1%)	
169,477	Energy Transfer LP	1,896,448
73,939	Enterprise Products Partners LP	1,908,365
		<hr/>
		3,804,813
	米国合計 (簿価 \$7,462,435)	\$ 10,674,704
	マスター・リミテッド・パートナーシップ合計 (簿価 \$7,462,435) (53.3%)	\$ 10,674,704
	投資総額 (簿価 \$12,045,214) (98.1%)	\$ 19,667,092
	負債を超過する現金およびその他の資産 (1.9%)	\$ 387,030
	純資産 (100.0%)	\$ 20,054,122

2022年3月31日現在の円ヘッジクラスの外国為替先渡契約残高 (純資産の-0.2%)

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価(損)	評価益/(損)
J P Y	Brown Brothers Harriman & Co.	284,583,840	2022/4/1	U S D	2,384,199	\$ -	\$ (39,533)	\$ (39,533)
J P Y	Brown Brothers Harriman & Co.	272,921,959	2022/4/11	U S D	2,369,423	-	(120,588)	(120,588)
J P Y	Brown Brothers Harriman & Co.	305,848	2022/4/11	U S D	2,654	-	(134)	(134)
J P Y	Brown Brothers Harriman & Co.	9,848,485	2022/4/11	U S D	85,488	-	(4,338)	(4,338)
J P Y	Brown Brothers Harriman & Co.	268,975,511	2022/4/11	U S D	2,257,778	-	(41,461)	(41,461)
J P Y	Brown Brothers Harriman & Co.	8,479,142	2022/4/11	U S D	70,151	-	(284)	(284)
J P Y	Brown Brothers Harriman & Co.	13,129,187	2022/4/11	U S D	106,020	2,163	-	2,163
J P Y	Brown Brothers Harriman & Co.	284,583,840	2022/4/11	U S D	2,304,169	40,758	-	40,758
J P Y	Brown Brothers Harriman & Co.	9,000,000	2022/4/11	U S D	73,774	384	-	384
U S D	Brown Brothers Harriman & Co.	2,304,169	2022/4/1	J P Y	284,583,840	-	(40,497)	(40,497)
U S D	Brown Brothers Harriman & Co.	119,691	2022/4/11	J P Y	14,100,782	3,503	-	3,503
U S D	Brown Brothers Harriman & Co.	2,337,874	2022/4/11	J P Y	268,975,511	121,557	-	121,557
U S D	Brown Brothers Harriman & Co.	49,741	2022/4/11	J P Y	6,000,000	302	-	302
U S D	Brown Brothers Harriman & Co.	2,384,207	2022/4/11	J P Y	284,583,840	39,281	-	39,281
U S D	Brown Brothers Harriman & Co.	148,317	2022/4/11	J P Y	18,000,000	-	(1)	(1)
						\$ 207,948	\$ (246,836)	\$ (38,888)

2022年3月31日現在の通貨αクラスの売建オプション取引残高 (純資産の-0.1%)

取引内容	取引相手	行使価格	行使期日	契約数	受取済 プレミアム	評価額
Call - OTC Japanese Yen versus US Dollar	HSBC	¥ 123.53	2022/5/12	2,800,000	\$ (39,293)	\$ (16,019)

通貨の略称:

J P Y	-	日本円
U S D	-	米ドル

ダイワ・マネー・マザーファンド

<補足情報>

当ファンド（ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）米ドルコース／日本円コース／通貨 α コース）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2022年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第100期の決算日（2023年4月20日）現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

2022年10月21日～2023年4月20日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2023年4月20日現在有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第18期 (決算日 2022年12月9日)

(作成対象期間 2021年12月10日～2022年12月9日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

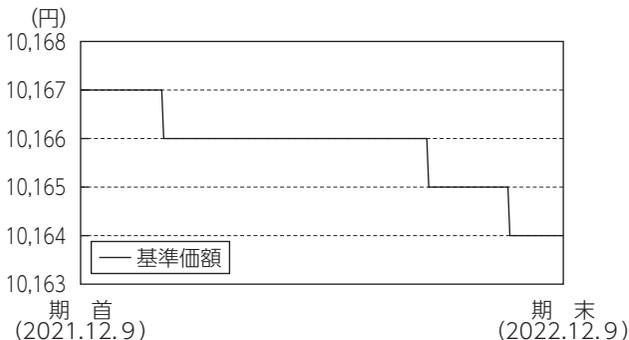
運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
	円	%	%
(期首)2021年12月9日	10,167	-	-
12月末	10,167	0.0	-
2022年1月末	10,167	0.0	-
2月末	10,166	△0.0	-
3月末	10,166	△0.0	-
4月末	10,166	△0.0	-
5月末	10,166	△0.0	-
6月末	10,166	△0.0	-
7月末	10,166	△0.0	-
8月末	10,165	△0.0	-
9月末	10,165	△0.0	-
10月末	10,164	△0.0	-
11月末	10,164	△0.0	-
(期末)2022年12月9日	10,164	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめぐって安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,167円 期末：10,164円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用	-
合 計	-

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2022年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	14,815,299	100.0
投資信託財産総額	14,815,299	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	14,815,299,248円
コール・ローン等	14,815,299,248
(B) 負債	113,000
未払解約金	113,000
(C) 純資産総額(A-B)	14,815,186,248
元本	14,576,480,402
次期繰越損益金	238,705,846
(D) 受益権総口数	14,576,480,402口
1万口当り基準価額(C/D)	10,164円

* 期首における元本額は6,671,046,264円、当作成期間中における追加設定元本額は21,845,860,602円、同解約元本額は13,940,426,464円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ゴールド・ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	3,627,565,740円
ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド -A1新時代- (為替ヘッジあり)	977,694円
ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド -A1新時代- (為替ヘッジなし)	977,694円
ダイワFEGグローバル・バリュー (為替ヘッジあり)	9,608円
ダイワFEGグローバル・バリュー (為替ヘッジなし)	9,608円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり)	49,107円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし)	49,107円
ダイワ/“R1C1”コモディティ・ファンド	2,074,249円
スマート・ミックス・Dガード (為替ヘッジあり)	5,973,809円
スマート・アロケーション・Dガード	23,929,224円
堅実バランスファンド -ハジメの一歩-	236,205,446円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/隔月分配型)	180,729円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/隔月分配型)	737,649円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/資産成長型)	95,276円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型)	337,885円
世界セレクトティブ株式オープン	983円
世界セレクトティブ株式オープン (年2回決算型)	983円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/毎月分配型)	983円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/毎月分配型)	983円
iFreeETF NASDAQ100インバース	5,509,329,948円
iFreeETF NASDAQ100レバレッジ	595,238,099円
iFreeETF NASDAQ100ダブルインバース	309,917,358円
DCダイワ・マネー・ポートフォリオ	4,031,730,013円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型)	132,757円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型)	52,987円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	467,315円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)	12,784円
ダイワ/フィデリティ北米株式ファンド -パラダイムシフト-	1,988,495円
ダイワFEGグローバル・バリュー株ファンド (ダイワSMA専用)	3,666円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	155,317円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型)	38,024円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 米ドル・コース (毎月分配型)	4,380円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型)	22,592円
ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース)	33,689円
ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース)	96,254円
ダイワ・ダブルバランス・ファンド (Dガード付/部分為替ヘッジあり)	104,785,071円
ダイワ6資産バランス・ファンド (Dガード付/為替ヘッジあり)	112,805,921円
ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジあり)	5,385円
ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジなし)	11,530円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 米ドルコース	9,817円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 日本円コース	6,964円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 通貨αコース	9,479円
ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型)	98,107円
ダイワ英国高配当株ファンド	98,107円
ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ	982,368円
DCスマート・アロケーション・Dガード	8,073,994円

ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型)	1,097円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型)	2,690円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	1,350円
ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式αコース	98,203円
ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース	98,203円
ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース	982,029円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	9,652円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,164円です。

■損益の状況

当期 自2021年12月10日 至2022年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 3,985,061円
受取利息	2,618
支払利息	△ 3,987,679
(B) 当期損益金(A)	△ 3,985,061
(C) 前期繰越損益金	111,255,021
(D) 解約差損益金	△230,350,932
(E) 追加信託差損益金	361,786,818
(F) 合計(B+C+D+E)	238,705,846
次期繰越損益金(F)	238,705,846

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。